



OUSBooksコーナー ができました。

編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>



岡山理科大学図書館では、岡山理科大学の先生方が共同執筆した図書を展示するスペースを設けることとしました。平成20年6月2日より、11号館カウンタ前に、「OUSBooks コーナー」という名称のスペースを作り、展示を開始しております。

著者が語るOUSBooks は、この裏！ ➡



図書館には、学習するのに便利な施設が揃っていますが、中でもグループで勉強するのに便利なのが、特別閲覧室です。
特別閲覧室は、11号館と10号館の2箇所にあります。
ご利用の際はカウンタまで申し出てください。

10号館の特別閲覧室は3階にあります。

著者に訊く OUSBooks

オンリーワンを求めて

滝澤 昇・佐藤幸子 編
近代科学社



● 科学を選んだ先輩からのメッセージ

バイオ・応用化学科

滝澤 昇 教授



○ 滝澤先生のご専門の内容について教えてください。

微生物を利用したバイオテクノロジーについて研究しています。私たちの身近にいるバクテリアや酵母、カビなどの微生物が生きる力を利用して、新しい食品・医薬品・エネルギーを作る技術の開発や、様々な化学物質で汚染された環境をきれいにする技術の開発をしています。最近では、乳酸菌を使った豆乳ヨーグルトの製造技術や、水槽の中に蓄積する硝酸を窒素に還元する脱窒菌の機能を利用する水質浄化技術の研究に取り組んでいます。

○ 「オンリーワンを求めて」の出版の経緯を教えてください。

日本人には、「科学」は難しく理解できないという、ある種のコンプレックスを持っている人が大勢います。中学高校では、理科(科学)は理論が中心となり、次第に現実の生活体験と離れることで、難しく感じられるのでしょうか。それが子供たちの科学離れにつながっているのでしょうか。でも科学を体験することは、心がワクワクすることなのです。この気持ちを中学・高校生に伝えたいと考えたからです。

○ 「オンリーワンを求めて」は、どのような内容の図書でしょうか？

難しく感じる人も多い「科学」ですが、子供のような気持ちを持って心踊らせて科学を楽しんでいる人達がたくさんいます。大学の教員や大学院生、企業の研究者がそうです。そこでこの本では、本学の教員や、一緒に研究をしている企業の研究者の方々30数人に、なぜ研究の道に入ったのか、そのきっかけや、研究する楽しみ、魅力について語っていただきました。また第1部では、「オンライン自然科学教育ネットワーク(ONSEN)」を主催し、子供たちに科学の魅力を伝える活動を行っておられる山田善春先生からのメッセージを、さらに第3部は、山田先生の他に理科教育の左巻健男先生、本学の衣笠先生、2人の大学院生、それに私が加わった座談会で、科学に入るきっかけ、研究生活の楽しみや悩みなどについて語りあっています。この本では科学の様々な分野の魅力が語られています。ともすれば今自分がいる分野しか見えないものですが、この本を読んでいただくことで、視野が広がり、広範な分野での「科学する」魅力を感じて頂けると思っています。

○ 図書館を使う学生にメッセージをお願いします。

インターネットで様々な情報が簡単に得られる時代ですが、情報は個別で断片的です。本には、その本がテーマとする情報がまとまってぎっしりと詰まっています。図書館にはそんな本がたくさんあります。インターネットと図書館を上手に使い分けるとよいですね。

著者に訊く OUSBooks

シリーズ『岡山学』

岡山理科大学『岡山学』研究会編
吉備人出版



シリーズ構成

- 1 : 備前焼を科学する
- 2 : 吉井川を科学する
- 3 : 旭川を科学する part.1
- 4 : 旭川を科学する part.2
- 5 : 旭川を科学する part.3



社会情報学科

志野 敏夫 教授

①志野先生のご専門の内容について教えてください。

中国・日本の古代史です。さらにそのなかでも、(1)中国皇帝の権力を軍事や当時の社会のあり方から考えること、(2)中国・朝鮮・日本の間の交流について考えること、が主なテーマです。とくに、(2)の地域間交流史を解くやり方として、日本では神社について研究しています。それは、神社に祀られる神様の性格を調べていくと、例えば、朝鮮半島からやってきた鍛冶技術者たちの神様だった、と考えられたりすることがあるからです。

②『シリーズ岡山学』の出版の経緯を教えてください。

1998年に、山陽新聞社が創立120周年記念として「新岡山学」というシンポジウムを行ないました。そのとき、現在の学長である波田善夫先生らが岡山理科大学から講演者として参加されました。それを見た私が、こうした、地域を総合的に研究するという事は、まさにできたばかりの総合情報学部の研究テーマだと感じ、理系・文系の先生方に呼びかけて研究会を作り、その成果を毎年本として出版するようになりました。

③岡山学とは、どんな学問なのでしょう？また、『シリーズ岡山学』の内容を教えてください。

岡山学は、岡山という地域を理系・文系の研究分野にまたがって、総合的に研究しようというものです。「〇〇学」と銘打った地域研究は、いま日本各地で行なわれていますが、そのほとんど全てが、歴史・民俗・考古など、いわゆる文系的分野の研究者によって行なわれています。『岡山学』の特徴は、岡山理科大学ですから、地形や地質、植生、地球科学などなど、理系の研究者が中心になって、そこへ歴史などの文系研究者も加わって行っているところにあります。「シリーズ」では、いままでに5冊を出しました。第1回は「備前焼」をテーマに、粘土質や緋襷の科学的解明、備前焼の歴史などについて考えました。そのあとは流域を科学する、と言って、吉井川・旭川流域を地形・地質・植生・治水・環境・歴史・文化・市民活動などなどさまざまな観点から考えています。知っているつもりのことにも、驚くような発見があります。これはこの後も続き、岡山平野をやり、そして高梁川流域を考えます。

④図書館を使う学生にメッセージをお願いします。

何かについて疑問を持ったとき、それをゼロから自分で解こうと思ったら、それはもう大変なことになるでしょう。しかし、図書館に行けば、そこには、それこそ数千年にわたる先人たちの考察の結果が、簡単に手に入ります。しかも、タダ！ こんなお得な存在は他にはないのではないのでしょうか。(涼しいし…)

図書館を卒業研究やレポートに使おう!!

後期の授業も始まり、卒業年次の皆さんは、いよいよ卒業研究に本格的に取り組もうかというところではないでしょうか？図書館では卒業研究やレポート作成に必要な学術情報の入手に便利なサービスや機能があります。積極的に図書館を使いましょう。



オンラインデータベースで 学術文献を調べよう

SciFinder Scholar やWeb of Science、MathSciNet などなど、その研究に、どのような学術文献が出ているのか、オンラインデータベースを使って調べることができます。

調べたい分野でオンラインデータベースを使い分けよう。

文献のタイトルではなく 雑誌名で所蔵を調べよう!

オンラインデータベースでヒットした論文や、論文の参考文献が理大にあるかどうかは、文献のタイトルではなく、その論文が掲載されている雑誌名をOPACで調べます。

参考文献には下記のような、雑誌名の省略形が多く使われています。

OPACでは雑誌の略称でも調べられるものもありますが、「.」(ピリオド)は外して検索してください。検索結果は正式名称で表示されます。

なお、略称名で検索されないときは、正式名称で調べましょう。

雑誌の略称例 J. Appl. Phys. → Journal of Applied Physics

研究室のパソコンから読める雑誌 (Online Journal) もあるよ。

OPACの雑誌の情報には、その雑誌がどこにあるかだけでなく、オンラインジャーナルが読めるかどうかも分かります。

所蔵雑誌は緑色の冊子体目録でも調べられますよ。



詳しくは
カウンターで
聞いてみよう。



ILLや学外への文献複写で 本学にない論文も読もう!

ILLは、Inter Library Loan (図書館間相互貸借) の略で、図書館と図書館の間での資料の貸し借りのことを言いますが、岡山理科大学では、資料を直接貸し借りするよりも、雑誌のコピーを依頼する文献複写制度がよく使われています。OPACにないからと言って、あきらめてはいけません。

本学にない学術文献は、取り寄せや複写依頼を利用して入手することができます。図書館は世界と繋がっています。

ただし、送料やコピー代金などは有料となります。